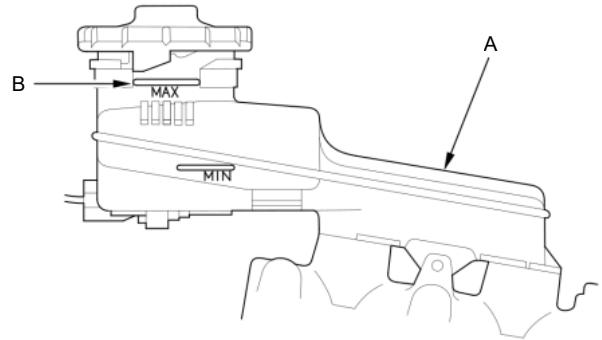


## ブレーキのエア抜き

### アドバイス

- ブレーキフルード補充時に、ごみや水を混入させないこと。
  - 化学変化を防止するため、銘柄の異なるブレーキフルードを使用しないこと。
  - ブレーキフルードは、Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT3またはDOT4を使用すること。
  - ブレーキフルードは塗装面を傷めるため、部品類に付着させないこと。付着した場合はすぐに水で洗い流すこと。
  - 抜取ったブレーキフルードは再使用しないこと。
1. リザーバタンク (A) からフィルタを外し、タンクからフルードおよび沈殿物を吸取る。
  2. マスタシリンダリザーバタンクのMAX (上限) 線 (B) までブレーキフルードを補充する。

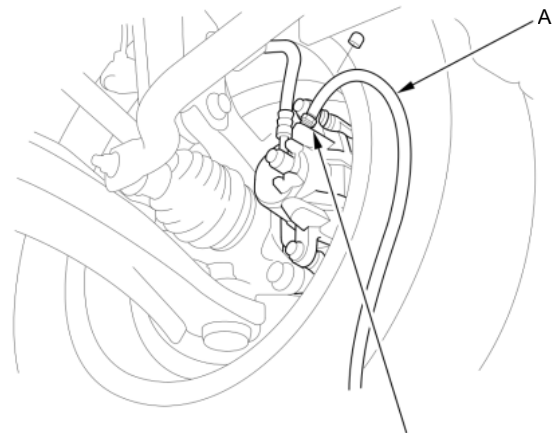


3. ブリードスクリュに透明チューブ (A) を接続し、適当な容器でブレーキフルードを受ける。
4. アシスタントがブレーキペダルをゆっくりと数回踏み込み、強く踏んだままにする。
5. ブリードスクリュをゆるめて、ブレーキフルードとともにエアを排出させる。フルードが勢いよく流れ出なくなったら (ブレーキペダルが床についたら)、ブリードスクリュを締める。
6. ブリードスクリュからエアが出なくなるまでステップ 4、5の手順を繰り返し、ブリードスクリュを規定トルクで締付ける。

**知識** 作業中にリザーバタンク内のブレーキフルードがなくならないように注意し、必要な場合は補充する。

7. 前記ステップ 2 - ステップ 6 の手順を、各輪ともエアが抜けるまで行う。

### フロント



P07A型SOHCエンジン搭載車:  
トルク 9N・m(0.9kgf・m)  
P07A型SOHCターボエンジン搭載車:  
トルク 8N・m(0.8kgf・m)

### リヤ

